

みやこ

社協だより



令和6年
12月号
(電子版)

制作・発行 社会福祉法人
宮古市社会福祉協議会

この広報誌は、赤い羽根共同募金の助成を受けて発行しています。

わくわくまつり 今年も大盛況!

9月1日(日)、イーストピアみやこにて第28回みやこ和来輪来(わくわく)まつりが開催されました。地域の皆さんが福祉に触れるきっかけづくりを目的として、市と社協、関係法人が協働し、毎年開催しております。今年も、「来てみて、かだつて、フォローして、けで」をテーマとし、約400名の皆さまにご参加いただきました。



姉妹でネイルブースに来てくれました。来年も待ってます!

「わくわくカフェ」では、リハビリデイホームあすもの利用者さんと職員の方が、コーヒーなど提供していただきました。利用者さんは、「こういう機会が無いので、緊張した。小さなお客さんがたくさん来てくれて嬉しい。」と話していました。



音楽療法の様子。歌とダンスで会場中が盛り上がりました。
(一般社団法人東北音楽療法推進プロジェクトえころん)

ネイル・ハンドマッサージ(県立大化粧ボランティアサークルSTDC*Labo)も大盛況でした。ネイル施術を受けた女性は、「今日は家族で参加した。幼児向けブースなど、こどもが

楽しめるものが多いのがありがたい。親子で気軽に楽しむことができ嬉し」と笑顔で話しました。

この他にも、えころんさんによる懐かしい歌と踊りのステージや、社協劇団による寸劇、ポッチャ体験会など、幅広い年代の方々に楽しんでいただきました。ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。来年もぜひお楽しみに!

赤い羽根 共同募金運動



今年度も10月1日より赤い羽根共同募金運動が始まっております。募金にご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。ご報告いたします。また、今年度の寄付付き商品「川井ペリィラ」(川井産業振興公社)も、たくさんの方にお買い求めいただきました。ご協力ありがとうございました。



宮古市産業まつり募金活動の様子。
(宮古市立河南中学校)

地域活動紹介 ～小山田編～

秋の作品展



三浦宜央さん(三浦よしおデザイン事務所代表)の作品。
ご本人から作品を紹介いただきました!

秋は様々な地域で展示会・作品展が開催されました!

今回は、11月2日(土)～3日(日)に開催した「こやまだ文化祭・展示会」をご紹介します。

一人ひとりが思いを込めて作った作品からは暖かさを感じました。ご家族やお友達と「すげえがねえ」「どうやってつくったんだあべえ」とお話ししながら楽しんでいらっしゃいました。「またやりたいな!」「来年に向けて準備してたよ!」と熱い想いをキャッチすることができました。

楽しく備える、防災さんぽ



10月20日(日)、小山田防災会が開いた「防災散歩」には、多世代の方が参加していました。防災会を中心に地域を散策しながら、避難場所や危険な箇所をハザードマップで確認しながら、地域を巡られました。

防災散歩から戻った後、総合福祉センター内で、市内の企業様に寄付して頂いた非常食の調理及び実食も行われました。過去の災害の教訓を生かし、地域全体の防災意識の向上に繋がる活動でした。

～発行方法の変更について～

みやこ社協だよりは、これまで7月、12月、3月の年3回発行、全世帯へ配布しておりましたが、社協広報のあり方、紙資源の保護など電子化への対応、経費節減を検討し、今年度より**紙面発行を年2回、電子版の発行を年1回**に変更いたします。電子版では、本会ホームページやSNSを中心に、オンライン上で発信いたします。大変申し訳ありませんが、ご理解賜りますようお願いいたします。※次号(3月号)は紙面発行し、全世帯へ配布をいたします。

社協だよりをお読みいただき、ありがとうございます。今号はいかがでしたか? さて、お気づきの方もいらっしゃるかもしれませんが、宮古市社協では、昨年度から、「**広報推進プロジェクト**」を立ち上げ、ホームページやブログ、社協だよりを中心に情報を発信しています。社協だよりは、今年度から紙面作成を担当しています。まだまだ不慣れではありますが、皆様が見てくださる社協だよりを、目指して、これからも取り組んでいきます。

広報Pのつぶやき

